

【巻頭言】

『AIの「これから」を考える』

AI（人工知能：Artificial Intelligence）は、ビッグデータの集積やIoT（Internet of Things）の進展の中で、ディープラーニング（深層学習）などの驚異的な技術進歩に伴い、その活用範囲は飛躍的に広がり、経済社会に大きな変革をもたらしている。それは、「第4次産業革命」と称されるイノベーションを導き、「Society 5.0」という新たな社会構造を創造する重要な要素となると期待されている。他方、AIがもたらす業務効率化は人々から定形的な仕事を奪い、また使い方を誤れば社会に害悪を及ぼすとの懸念も聞こえる。

本冊子は、AIに関する情報が飛び交う今日において、まずAIとは何か、その現状の姿を概観し、さらに特徴的な各分野の最新の動向を探った上で、AIが我が国の経済社会の発展にどのようなインパクトを与えるかを考察し、その将来像を予測するものである。

以下、本冊子の構成について紹介する。

第1章は、「AIの技術動向とFintech分野での利用について」として、AIの定義から始まり、その進歩の歴史、AIで何ができるか、などを解説し、金融分野（Fintech）を例にとりAIが今後どのように活用されていくのか、について概観したものである。

第2章「AIと自動車産業の未来」は、AIの産業利用の例として自動車産業を取り上げる。CASE時代が到来し、自動運転やライドシェアリングが普及してMaaSが進化する中で、AIがもたらすイノベーションが交通社会をどのように変革するか、未来を占う。

第3章「AIによるインフラの維持管理」は、老朽化するトンネルや橋といったインフラへの対応が喫緊の課題となる中で、AIを活用した画期的な維持管理手法について紹介する。

第4章「AIとベンチャービジネス」は、AIを活用したスタートアップ企業の活躍が目立つ中で、特色のあるサービスを展開するベンチャー企業2社と、これらAIベンチャーを支援するベンチャーキャピタルの先駆的な取組みをインタビュー形式で浮き彫りにする。

第5章「AIと地方創生～ゴールデン・スポーツイヤーズのAI地域戦略～」では、AIが、公共交通の利便性を向上させることにより、地域資源を活用した観光や都市から地方への移住を促進し、また人材マッチングや農業の振興といった地域経済の活性化にも貢献するという事例を紹介する。

第6章「AIとシンガポールの国家デジタル戦略」は、スマートネーション構想の元、国家戦略としてAIの活用を含むデジタル化を積極的に進めるシンガポールの現況を報告する。

第7章「AI雑考－AIを活用した我が国経済の将来像」は、いわゆるAIブームに直面している日本の現状を直視した上で、何を目的にAIを導入するのかを冷静に考えつつ、将来を見据えることにより、その目指すべき方向性を探る。

本冊子が、読者のAIに関する理解を深め、我が国経済を活性化する方向でAIが普及発展する一助となれば幸いである。

株式会社 価値総合研究所 代表取締役社長 山本 貴之